

海外CCSバリューチェーン構築に向けた検討に関する覚書締結について(2023年1月26日)

日本製鉄株式会社・三菱商事株式会社・ExxonMobil Asia Pacific Pte. Ltd.

日本製鉄株式会社（社長：橋本英二、以下「日本製鉄」）と三菱商事株式会社（社長：中西勝也、以下「三菱商事」）とExxonMobil Asia Pacific Pte. Ltd.（アジアパシフィック低炭素ソリューション事業 プレジデント：Irtiza Sayyed、以下「エクソンモービル」）は、このたび豪州などの海外アジアパシフィック圏内でのCO2回収・貯留（Carbon Capture and Storage、以下「CCS」）、及びCCSバリューチェーン構築に向けた共同検討に関する覚書（以下、「本覚書」）を1月25日に締結しました。

本覚書に基づき、3社は日本製鉄の国内製鉄所から排出されるCO2の回収に関する調査や必要な設備開発の評価を行い、エクソンモービルによる豪州及びマレーシア・インドネシアを始めとする海外アジアパシフィック圏でのCO2貯留先の調査、及び三菱商事による海外へのCO2輸送及びCCSバリューチェーン構築に向けた評価を実施して参ります。日本でのCO2回収・海外でのCO2貯留に関するCCSバリューチェーン構築の具体的な検討は世界で初めての取組みとなります。

日本製鉄は、2021年3月に公表した中長期経営計画の中で、「カーボンニュートラルビジョン2050」を打ち出し、その実現のために、CCSを重要な技術の一つと位置付けております。今回3社での取組みを通じて、製鉄所から発生するCO2を海外にて地層貯留を行うための貯留場所の確保や貯留インフラ・法整備の検証、またコストの妥当性の検討等、早期社会実装に向けて積極的に推進していきます。

三菱商事は、2021年10月に策定した「カーボンニュートラル社会に向けたロードマップ」及び2022年5月に公表した「中期経営戦略2024」においてエネルギー転換（EX）を重要な取組みと位置付けています。今回3社での取組みを通じて、海外へのCO2の輸送及びCCSバリューチェーン構築を推進していきます。

エクソンモービルは、低炭素社会実現に向けて、引き続き革新的なソリューション開発を進めて参ります。2021年、低炭素化が困難な業界に対し、環境負荷の低い技術を提供すべく、Low Carbon Solutions事業を設立しました。エクソンモービルは、低炭素技術の開発、活用を通じ、アジアパシフィック地域内外での排出量削減を推進致します。